



(第3期) 第10回まつもと子ども未来委員会の報告

平成29年11月14日

第3期の第10回まつもと子ども未来委員会は、平成29年11月12日（日）にMウイングで行いました。この日は、37人の委員のうち、小学校5年生から高校1年生までの、15人の委員が出席しました。司会進行は、委員長にお願いしました。

1 11月18日のフォーラムについて

この日は、前回に引き続き、18日フォーラムに向けたセリフ作りをしました。
セリフが完成した後は、リハーサルをやりました。

発表のときに気をつけること

- ゆっくり、はっきり読む
- 原稿で顔が見えなくならないようにする
- 原稿をずっと見るのではなく、時々顔を上げる



リハーサルでは上にあるような注意点が出ました。これらのことに気をつけて、本番の発表を堂々で行いましょう！

2 12月のフォーラムについて

次に、12月2日（土）、3日（日）に茅野市で行われる、「子どもの権利条約フォーラム 2017in 信州」の分科会（フォーラムのなかの小さな企画）について話し合いました。

分科会の時間は、全部で、1時間30分です。フォーラムの実行委員の人からは、未来委員会の活動報告もふまえながら、分科会をやってほしいとされています。なので、11月18日に行う発表をやったあと、残りの時間で「子どもの権利」をテーマに何をやりたいか、みんなで話し合いました。



みんなからの意見

① 「あこがれのまち」の空想地図作り

小学生、中学生、高校生が思う理想のまちと、大人が思う理想のまちが違うのか、見てみたり、話し合ってみたい。

② 報告会と意見交換

未来委員会の報告だけでなく、他のまちでまちづくりを考える活動をしている子どもたちからの報告をしてもらいながら、未来委員会の活動をもっと良くする、もっと知ってもらうにはどうしたらいいかを考えたい。

③ 子どもと大人未来委員会

いつも未来委員会でやっているような、まちづくりについての話し合いを、分科会に来てくれた人全員で考えたい。ただし、全国から人が集まってくれるので、松本のこと、長野県のことだけでなく、もっと広く考えたい。

分科会は、未来委員会以外にも、いろんな団体が企画しています。なので、当日に分科会に参加する人のうち、だれが未来委員会の分科会に来てくれるかは、まだ分かりません。20日を過ぎると、だれが未来委員会の分科会に来てくれるのか、大体分かるようになります。話し合った結果、だれが来てくれるかによって分科会の内容を決めることになりました。

念のため、みんなが今の段階で何をやりたいか多数決をしてみたところ、①が6人、②が4人、③が4人、どれか選べない人が1人でした。この人数も参考にしながら、分科会の内容は、次回の委員会で決めることにしました。

次回は、11月26日（日）にMウイングで行います。